

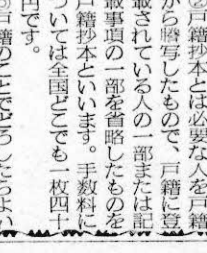
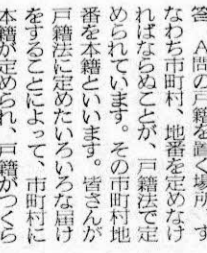
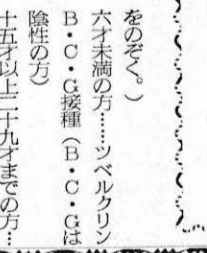
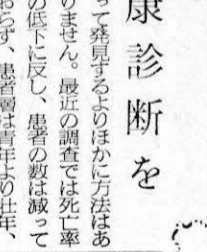
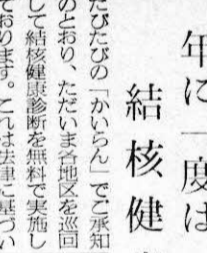
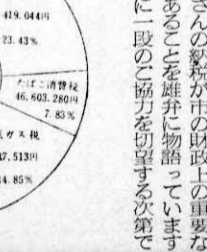
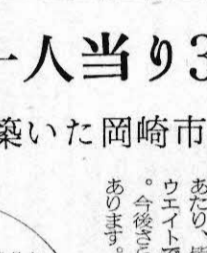
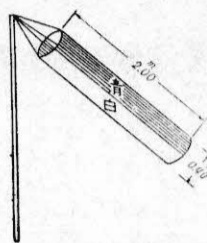
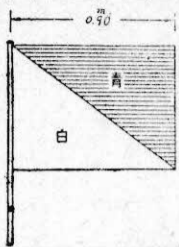
台風になえましよう

水防警報発令中は旗と吹流しを

今年もいよいよ台風シーズンがやってきました。天災は忘れたころにやってくる、といいますが、忘れないうちにも天災はやってきます。昨年の伊勢湾台風で、岡崎市における被害状況は、死者千五百名、被害家屋三千五百四十四戸、被災者一万五千三百二十八人という大きな被害をうけました。

このような大きな被害をうけた原因も「天災だから」と簡単にすましてはならない問題もあるのではないのでしょうか。被災者の多くが語る「大きい台風とは知っていたが、あほどの台風とは思わなかった」といふことを聞いてもわかるように、私たちの心に大きな不安があったのも見逃せません。自然の猛威は人力で防ぐべくもありませんが、せめてその被害を最少限にとどめるよう、できる限りの用意をしておきたいものです。

気象通報によく注意し、警報が出たら次のような準備をすることが必要です。



1 台風警報発令時は気象通報はもちろんで、市、消防署、警察等の指示を守り行動することが必要です。この指示に従わなかったため洪水に流されたり、行方不明になったり、傷をうけたりするという不幸な結果をまねいたことが多くあります。

2 平均風速二十メートル以上に達する雨戸やガラスが吹き抜かれ、万が一雨戸が外されると天井まで吹きあげられることがあり、また風圧に耐えるよう雨戸にカシメ等の補強をしておくべきです。屋根瓦、塀、看板、煙突、木材等が風で吹き飛ばされ、通行人を傷つけたり、家屋に被害を与えることが多いので、台風が近づくと、新聞紙などで窓ガラスを保護し、通行人以外は信しなから止むべきです。

3 一日の降雨量が百ミリを超える時は低地では浸水し、二百ミリを超える時は河川がはんらんし、また台風の通過が満潮時にあたる時は高潮に見舞われるおそれがあります。このような場合は市または警察等によって避難の指示または警告が行なわれますから、その指示、警告に従って行動すればよいのですが、よくデマの類いが多いので、必ず水害後は伝染病のまんえん防止に注意してください。

4 避難の場合は、まず老人、子供、病人等を避難させ、防災にあたりうる若い人達は最後に避難し、水害の場合は途中で浸水、陥没等のない高地を選び、留守宅の戸締りや火の元をしっかりと注意してください。なお避難のさいは余計な荷物をもつことをやめて、現金、三分づかいのさいの金、着替え衣料、飲料水、医薬品等にとり、小さい子供には衣類の見やすいところに名札をつけておいてください。

5 水害後は伝染病のまんえん防止に注意してください。

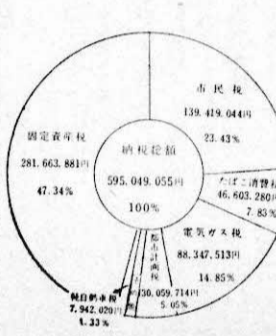
毒や健康診断、予防接種を受けてください。浸水した家では通風をよくして湿気の除去につとめ、家のまわりや下水の清掃、消毒をじゅうぶんにしてください。

岡崎市では、水防警報（水防警報は八帖量水標で水位が三・六〇メートル「六合水警報水位」に達する）かまたは越えるおそれがあるとき中部地方建設局長より発令される）の発令された場合、上図のような旗と吹流しを市役所本庁、各支所、連絡所、消防署に於いて市民の皆さんにお知らせします。

市民の皆さんの着実な納税意欲は岡崎市の赤字財政解消に大きな役割を果たしてきています。昭和三十四年度の納税実績は次のとおりです。この協力を感謝いたします。昨年度に比べて納税総額を示すと、五、六一、〇七二円の増加を示し納税率は、九・九の躍進を見ましたが、これは本市の歳入総計一、〇三二、九二二、〇〇〇円の五七・二六％にあたり、皆さんの納税が市の財政上の重要なウエイトであることを是非併せて物語っています。今後さらに一段の協力を切望する次第であります。

市民一人当り3,646円

皆さんが築いた岡崎市の納税実績



たびたびの「からん」で承知して発見するのほかに方法はあつた。たびたびの「からん」で承知して発見するのほかに方法はあつた。たびたびの「からん」で承知して発見するのほかに方法はあつた。

たびたびの「からん」で承知して発見するのほかに方法はあつた。たびたびの「からん」で承知して発見するのほかに方法はあつた。たびたびの「からん」で承知して発見するのほかに方法はあつた。

たびたびの「からん」で承知して発見するのほかに方法はあつた。たびたびの「からん」で承知して発見するのほかに方法はあつた。たびたびの「からん」で承知して発見するのほかに方法はあつた。

たびたびの「からん」で承知して発見するのほかに方法はあつた。たびたびの「からん」で承知して発見するのほかに方法はあつた。たびたびの「からん」で承知して発見するのほかに方法はあつた。

たびたびの「からん」で承知して発見するのほかに方法はあつた。たびたびの「からん」で承知して発見するのほかに方法はあつた。たびたびの「からん」で承知して発見するのほかに方法はあつた。

年に一度は 結核健康診断を

たびたびの「からん」で承知して発見するのほかに方法はあつた。たびたびの「からん」で承知して発見するのほかに方法はあつた。たびたびの「からん」で承知して発見するのほかに方法はあつた。

たびたびの「からん」で承知して発見するのほかに方法はあつた。たびたびの「からん」で承知して発見するのほかに方法はあつた。たびたびの「からん」で承知して発見するのほかに方法はあつた。

たびたびの「からん」で承知して発見するのほかに方法はあつた。たびたびの「からん」で承知して発見するのほかに方法はあつた。たびたびの「からん」で承知して発見するのほかに方法はあつた。

たびたびの「からん」で承知して発見するのほかに方法はあつた。たびたびの「からん」で承知して発見するのほかに方法はあつた。たびたびの「からん」で承知して発見するのほかに方法はあつた。

市立羽根小 親子プールお目見え



羽根小学校に親子プールが完成し、去る一日完成式とプール開きが行なわれました。このプールは長さ二十五メートル、幅十二メートル、深さ七メートル、深さ二メートルの高低二層構造のプールです。プールにはシャワー、更衣室、足洗い場、シャワー、消毒機等衛生施設の完備した立派なものです。工費は四百六十万円。

たびたびの「からん」で承知して発見するのほかに方法はあつた。たびたびの「からん」で承知して発見するのほかに方法はあつた。たびたびの「からん」で承知して発見するのほかに方法はあつた。

たびたびの「からん」で承知して発見するのほかに方法はあつた。たびたびの「からん」で承知して発見するのほかに方法はあつた。たびたびの「からん」で承知して発見するのほかに方法はあつた。

戸籍相談

たびたびの「からん」で承知して発見するのほかに方法はあつた。たびたびの「からん」で承知して発見するのほかに方法はあつた。たびたびの「からん」で承知して発見するのほかに方法はあつた。

たびたびの「からん」で承知して発見するのほかに方法はあつた。たびたびの「からん」で承知して発見するのほかに方法はあつた。たびたびの「からん」で承知して発見するのほかに方法はあつた。

たびたびの「からん」で承知して発見するのほかに方法はあつた。たびたびの「からん」で承知して発見するのほかに方法はあつた。たびたびの「からん」で承知して発見するのほかに方法はあつた。

たびたびの「からん」で承知して発見するのほかに方法はあつた。たびたびの「からん」で承知して発見するのほかに方法はあつた。たびたびの「からん」で承知して発見するのほかに方法はあつた。

市政雑感

市民の誰もが、次代の岡崎市を担う青少年が、賢明にして、明朗活潑として、健康なることを願うことは、言うまでもない。第一次大戦後、彼の独逸のヒトラー總統は、病院を建てたよりは、国民の広場へ運動場を造れと叫んだ。勿論戦後急進なる復興の必然性、国民の旺盛なる意欲と、頑健なる体力を待つに、性急な拍車をかけた心境は、察知出来るに充分ではあるが、日本の現状より慎重に判断すれば、病院を建てると共に、云々の批判も出される。勿論其の予備も与えられなかったが、国民の健康に、近代市民の社会施設として、近代的市民病院の増設が、出来たのは、好評を博して居るが、尚近い将来に完成を期待して止まない。特に教育予算中、跡敷地を、市民の教養、娯

施設めぐり 岡崎市養老院

世の人の慈悲と情をつみかさね とせを迎う今日の目出たことしの7月15日で市立養老院は開院10周年を迎えることになりました。この和歌は市長さんにも出ていた10周年の記念の催しを行なった際、なかのおとしよりが作ったものの一つです。

養老院はお互いに行きつくであろう人生の終着駅——この老後を安楽におくることのできるよう「生活保護法」の規定に基づいて設けられた施設で、六十才以上のみよりのない、自活のみちのたゝぬ老人を収容しています。

市電学天下停留所から西南へ入って、上六名町の県営アパートのすぐ隣にあるこの養老院は、いまちょうど花ざかりの一面の蓮田を前にして、敷地約500坪、建坪約200坪、常に55名の定員が欠けたことのない位の有様で、院長、寮母、看護婦、陪保等六人嘱託医一人がお世話にあたっています。

毎日のくらしと年中行事 「キミョームリョージュニョライ」朝八時ころ前を通りかゝった人はこの正信偈の声をきかせるでしょう。としよりの常というか、夏の養老院の朝は早い。起床洗面、部屋の掃除朝食をすましてこの朝のおつとめになるわけですが、これから夕方の感謝のおつとめで、思い思いに自由なこゝの一日はとしよりはとしよりの仕事を適当な内職にいそしむ人、手すさびの針仕事を人、庭の手入れや花壇の草取りに精出す人などいろいろですが、テレビに興ずる人や午後は午睡をとる人も多い。夜も自室でくつろぐなり、集会室でテレビをみるなりして適当な時刻に床につきます。

食事は老人のこのみとカロリーに留意して作られ、衣料、日用品もすべて必要に応じて支給されます。健康管理には特に意を用いて、毎週1〜2回嘱託医の診察を受け、入浴も週二回以上行ないます。現在のところ病臥の人もなく喜んでます。

1日、15日の外出日には、親戚、知人をたずねる人、萬徳寺の在院者共同墓地に参詣する人などありますが、70才以上の人はとしよりの年金がもらえるようになったので、こんなときのおこずかいにも不自由はありません。



開院十周年